

大 使 館 情 報

2017年2月

【目次】

1. ブラジル・マクロ経済情勢

- (1) 経済情勢等（1月発表の経済指標）
- (2) 経済政策等
- (3) 中銀の金融政策等
- (4) 為替市場
- (5) 株式市場

2. ブラジル政治情勢

内政

- (1) ブラジル北部の刑務所内暴動殺人事案（主要なもののみ）
- (2) ザヴァスキー連邦最高裁判事の飛行機墜落事故死

外政

- (1) トランプ米国大統領就任後の伯米関係
- (2) 駐伯ギリシャ大使死亡に係る伯政府発表
- (3) グテーレス国連事務総長就任
- (4) ソアレス元ポルトガル大統領の逝去
- (5) 中国春節に際してのテメル大統領メッセージ

3. トピックス

- (1) 佐藤大使の信任状捧呈について
- (2) 平成29年新年会及び勲章伝達式
- (3) 「貧しい子供たち向けの柔道教室の支援」及び「リオデジャネイロ州最大規模の保育園の改修」（在リオデジャネイロ日本国総領事館）

4. 大使館からのお知らせ

- (1) 文化イベント
- (2) ブラジル渡航情報

1. ブラジル・マクロ経済情勢

(1) 経済情勢等（1月発表の経済指標）

- (ア) 中銀が週次で発表しているエコノミスト等への調査に基づく GDP 成長率予測に関し、1月27日時点では、本年の GDP 成長率は 0.50%で5週連続の横ばい、明年の GDP 成長率は 2.20%とされた。また、本年のインフレ率見通しは 4.70%で4週連続の下方修正、明年のインフレ率見通しは 4.50%とされた。
- (イ) 12月の拡大消費者物価指数（IPCA）は単月で 0.30%となり、前月の 0.18%から上昇した。交通費（+1.11%）の高騰が寄与した。この結果、2016年累積の IPCA は 6.29%となり、政府のインフレ目標（4.5%±2%）の範囲に収まった。
- (ウ) 11月の鉱工業生産指数は、前年同月比▲1.1%で33か月連続のマイナス、前月比では +0.2%となり、2か月ぶりにプラスに転じた。
- (エ) 12月の貿易収支は、輸出額は 159.41 億ドル（前年同月比▲5.0%、前月比▲1.7%）、輸入額は 115.25 億ドル（前年同月比+9.3%、前月比+0.5%）で、差引き 44.15 億ドル（前年同月比▲29.2%、前月比▲7.2%）で22か月連続の貿易黒字を記録した。また、2016年通年の輸出額は 1,852.35 億ドル（前年比▲3.1%）、輸入額は 1,375.52 億ドル（前年比▲19.8%）で、差引き 476.83 億ドル（前年比+142.2%）と過去最高の貿易黒字を記録した。
- (オ) 11月の小売売上高は、前年同月比▲3.5%で20か月連続のマイナス、前月比では+2.0%となり、5か月ぶりにプラスに転じた。
- (カ) 全国の失業率（10～12月の移動平均）は 12.0%となり、前回の公表値（9～11月の移動平均）から 0.1%上昇して2か月連続で悪化し、2012年に統計を開始して以来の最高値を更新した。また、2016年平均の失業率は 11.5%となり、2015年の 8.5%から大幅に悪化した。

(2) 経済政策等

- (ア) 1月17日、メイレス財務大臣は、スイス・ダボスで開催されている世界経済フォーラムに出席し、改革の重要性とブラジルに対する高い関心を強調しつつ、ブラジルのおかれている危機を克服する措置により、本年第1四半期にも成長を回復するとともに、全国の失業率も徐々に回復すると発言した。
- (イ) 1月31日、財務省は、2016年度の連邦政府のプライマリーバランス赤字が▲1,542.55 億リアルとなり、目標の▲1,704.96 億リアルを上回ったと発表した。

(3) 中銀の金融政策等

- (ア) 1月11日、中銀の金融政策委員会（Copom）は、政策金利（Selic）を 0.75%引き下げて 13.00%とする旨を全会一致で決定した。なお、政策金利の引下げの決定は3会合連続となった。
- (イ) 1月31日、ゴールドファイン中銀総裁は、サンパウロで開催された投資家との会合にテメル大統領と共に出席し、長期的なインフレ目標は他の新興国と同様に3%前後に近づくと発言した。

(4) 為替市場

- (ア) 1月のドル・レアル為替相場は、議会休会中で国内の材料が乏しい中で、ドルの軟調を受けて相対的にレアルが緩やかに上昇する展開となった。
- (イ) 月の前半は、トランプ次期米大統領の発言等への警戒感からドルが軟調に推移したことに加え、堅調な資源価格や各種経済指標が好転したことを受けて、1ドル=3.1レアル台までレアル高が進んだ。
- (ウ) 月の後半は、英国のハードブレグジット懸念からリスクセンチメントが後退し、一時的に1ドル=3.2レアル台に戻したものの、中銀による事実上のドル売り・レアル買いの介入でレアル安の動きに歯止めがかかった。その後は、トランプ米大統領の保護主義的政策への警戒感が広がり、レアルは再び上昇基調に入った。月末は1ドル=3.1486レアルで取引を終えた(前月比3.3%のドル安・レアル高)。

(5) 株式市場

- (ア) 1月のブラジルの株式相場(Ibovespa指数)は、ほぼ一貫して上昇する値動きとなった。
- (イ) 月の前半は、好調な資源価格等を背景に、株価は上昇基調でスタートした。その後も、各種経済指標が好転したことに加え、中銀が市場の予測を超える利下げに踏み切ったことが好感され、株価は63,000ポイント台まで続伸した。
- (ウ) 月の後半は、トランプ米大統領の就任式を控えて小動きが続いたものの、就任式後は大手金融機関の好決算等を材料に、株価は一時66,000ポイントまで急速に上昇した。その後は、高値を警戒した利食い売りも入ったことで、月末の株価は64,670.78ポイントとなり、前月比+7.4%の上昇となった。

2. ブラジル政治情勢

【内政】

(1) ブラジル北部の刑務所内暴動殺人事案(主要なもののみ)

- (ア) 1日、アマゾナス州マナウス市アニジオ・ジョビン刑務所で暴動が発生。ファミリア・ド・ノルチ(FDN)構成員の囚人グループが、敵対組織の首都第一コマンド(PCC)構成員の囚人を殺戮し、56名が死亡。
- (イ) 5日、テメル大統領と安全保障室メンバー(法務・市民大臣、国防大臣、大統領府安全保障室長官)は、法務・市民省が策定した「国家治安計画」を承認。
- (ウ) 6日未明、ロマイラ州ポアヴィスタ市モンテ・クリスト農業刑務所でPCC構成員の囚人グループがFDN構成員の囚人33名を報復として殺戮。
- (エ) 14日午後、リオ・グランデ・ド・ノルテ州アルカスズ刑務所にて暴動が発生し、Sindicato do Crime do RN (SCRN) 構成員の26名の囚人が殺戮される。

(2) ザヴァスキー連邦最高裁判事の飛行機墜落事故死

- (ア) 19日、テオリ・ザヴァスキ連邦最高裁判事（享年68歳）が飛行機の墜落事故で死亡。同判事は2012年から連邦最高裁判事を務め、ペトロブラス社を巡るラヴァ・ジャット捜査の審理を担当していた。
- (イ) 21日、ザヴァスキ連邦最高裁判事の葬儀がポルトアレグレ市で行われ、テメル大統領ほか関係閣僚等が出席。

【外政】

(1) トランプ米国大統領就任後の伯米関係

- (ア) 3日、セーハ外務大臣は外務省内行事において伯米関係に言及。伯米間における5～10件の優先課題をトランプ次期米大統領に伝達する旨表明。
- (イ) 20日のトランプ米大統領の就任に際し、テメル大統領等、伯政府関係者は特段反応を示さなかった。
- (ウ) 26日、伯外務省はトランプ米大統領主導によるメキシコとの国境での壁建設に関する声明を発表。「伯政府は両国においてコンセンサスがないまま、我々の大陸において兄弟国を分断する壁の建設のアイデアを憂慮をもって受け止めた」旨表明。
- (エ) 31日、テメル大統領はサンパウロで行われた「ラテンアメリカ投資会議」において、投資家に対し、「国際情勢の先行きが見えない中、ブラジルはビジネスにとって特に魅力的な国となる。我々は民族・宗教紛争もない民主主義国家であり、世界に対して開かれた国である」旨述べた。

(2) 駐伯ギリシャ大使死亡に係る伯政府発表

2日、テメル大統領は、年末にリオにおいて遺体で発見された駐ブラジル・ギリシャ大使の死亡に関して、弔意のメッセージを発出。

(3) グテーレス国連事務総長就任

3日、大統領府サイトはグテーレス国連事務総長就任に際し、テメル大統領による祝意のメッセージを掲載。ポルトガル語圏出身の初の事務総長就任に対し祝意を表した。

(4) ソアレス元ポルトガル大統領の逝去

7日、マリオ・ソアレス元ポルトガル大統領の逝去に際し、テメル大統領及びセーハ外務大臣は弔意の声明を発表。10日、テメル大統領はリスボン市内のジェロニモス修道院で行われた追悼式典に出席し、ソウザ・ポルトガル大統領と会談を行った。

(5) 中国春節に際してのテメル大統領メッセージ

28日、大統領府HPは中国の春節に際して、テメル大統領の祝賀メッセージを掲載。

3. トピックス

(1) 佐藤大使の信任状捧呈について

1月19日、佐藤悟ブラジル駐劬日本国特命全権大使は、大統領官邸（プラナウト宮）において、ミシェル・テメル・ブラジル連邦共和国大統領に信任状を捧呈した。

（2）平成 29 年新年会及び勲章伝達式

- （ア）1月25日、在ブラジル日本国大使公邸にて平成29年新年会及び勲章伝達式が開催、政府・議会関係者及び日系社会代表者から300名を超える方々に御出席頂いた。
- （イ）新年会では、日本ブラジル両国歌演奏後、佐藤大使が新年の挨拶を述べ、ワルテル・イホシ連邦下院議員が乾杯を行った。佐藤大使は、昨年のリオデジャネイロ・オリンピック・パラリンピックの成功を振り返りつつ、転換期にあるブラジルで日伯関係をさらに躍動、飛翔させていく決意を表明した。
- （ウ）続いて、勲章伝達式が行われ、日本・ブラジル間の相互理解の促進と司法分野における交流に寄与したマサミ・ウエダ元司法高等裁判所判事に「旭日重光章」が、日本・ブラジル間の相互理解の促進及び友好親善に寄与したタツオ・マツナガ・ブラジリア日伯文化協会会長に「旭日双光章」が、それぞれ授与された。式典では、ウンベルト・マルチンス司法高等裁判所副長官が両氏の功績に触れつつ祝辞を述べた。

（3）「貧しい子供たち向けの柔道教室の支援」及び「リオデジャネイロ州最大規模の保育園の改修」（在リオデジャネイロ日本国総領事館）

【貧しい子供たち向けの柔道教室の支援】

在リオデジャネイロ日本国総領事館は、平成28年度「草の根文化無償資金協力」として、「インスティテュート・ヘアソン・シダージ・デ・デウス支部道場器材整備計画」を採択し、12月22日、フラビオ・カント・インスティテュート・ヘアソン会長及び山元毅在リオデジャネイロ日本国総領事によって資金供与に関する契約書への署名が行われた。

署名式には、フラビオ・カント会長（アテネ五輪男子81kg級銅メダリスト）の他、ジェラルド・ベルナルデス師範（ブラジル代表の元コーチ）、同団体が運営する柔道教室で柔道を始めたリオ五輪柔道女子57kg級金メダリストのラファエラ・シルバ選手など多数の方が参加した。

インスティテュート・ヘアソンは、恵まれない環境の子供たちのスポーツを通じた人間形成を目的として設立された団体で、リオ市内において貧しい地域の子供たち向けの無償の柔道教室を開催している。今回の支援により、同団体は、柔道教室用の新しい畳、柔道着及び理学療法器具を調達する。



【リオデジャネイロ州最大規模の保育園の改修】

在リオデジャネイロ日本国総領事館及びセントラル・ド・ポボ協会は、同協会が運営している保育園の改修工事の完了を受け、12月14日に供与式を実施した。

供与式には、山元毅在リオデジャネイロ日本国総領事その他、ロナルド・ロドリゲス・ペレイラ同協会会長、リビングストン・ドス・サントス・シルバ同協会運営委員会会長、シジネイ・ロブソン・パジネ・ダ・シルベイラ少佐（UPP司令官）など多数の方が参加した。



セントラル・ド・ポボ協会保育園は、約100年前にリオデジャネイロで最初に形成されたといわれるスラム街があるプロビデンス地区にあり、約360人の子供が通うリオデジャネイロ州最大規模の保育園。同保育園は、屋根や壁が一部で備わっていないために雨が室内に入る等の施設面の問題を抱えていたことから、日本政府は、その施設改修に係る資金（196,895.95レアル（約650万円相当））を、「草の根・人間の安全保障無償資金協力」として昨年供与していた。

4. 大使館からのお知らせ

(1) 文化イベント

2017年版カレンダー展（サンパウロ）

日時：2月1日（水）～28日（火）

場所：サンパウロ市地下鉄ViaQuatro線 Luz 駅

内容：サンパウロ市地下鉄ViaQuatro線のLuz 駅にて、日本の様々なカレンダーを紹介する展示会を実施する（ViaQuatro/在サンパウロ総領事館共催）。

空手家パフォーマンス及びワークショップ（サンパウロ・ベロオリゾンテ）

日時：①2月16日（木）：サンパウロ

②2月17日（金）～18日（土）：ベロオリゾンテ

場所：①三重県人会

②ミナス日本祭り

内容：日本から空手家（松濤館流）2名を招へいしパフォーマンス及びワークショップを実施する。サンパウロではワークショップを、ベロオリゾンテではミナス日本祭り舞台にてパフォーマンスを実施する。

第6回ミナスジェライス日本祭り（ベロ・オリゾンテ）

日時：2月17日（金）～19日（日）

場所：エキスポ・ミナス（ベロ・オリゾンテ市）

内容：和太鼓， 武道， 漫画， ダンス， 原宿ファッション， ポップカルチャー等， 日本文化に関する様々なデモンストレーション， ワークショップ， 講演等が一斉に集う日本祭り。
在リオデジャネイロ総領事館の主催で， 薦野公邸料理人による和食ワークショップ， 日本酒ソムリエのヤスミン・ヨナシロ氏によるテイスティングも行われる。

生け花展示会（リオデジャネイロ）

日時：3月27日（木）～4月2日（日）

場所：コパカバーナ要塞（6番ポスト）

内容：華道静月流・大塚益代師範と日伯文化協会の生け花メンバーによる， 生け花展示会。
独創性と精神性， 美しさと感受性を兼ね備えた様々な生け花の展示を行う。

（2）ブラジル渡航情報

（ア）外務省 海外安全ホームページ

各国の危険情報や安全対策など， 海外赴任， 出張及び旅行をする際の留意点が掲載されている。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

（イ）ブラジル渡航情報

①危険情報

11月9日付で内容を改訂したので御確認下さい。以下の地域が「レベル1：十分注意してください。」となっているので， 詳細をホームページで確認下さい。

- ・ブラジリア連邦区（継続）
- ・サンパウロ州大サンパウロ圏及びカンピーナス市（継続）
- ・リオデジャネイロ州大リオ圏（継続）
- ・アマゾナス州大マナウス圏（継続）
- ・パラ州大ベレン圏（継続）
- ・ペルナンブコ州大レシフェ圏（継続）
- ・バイア州大サルバドール圏（継続）
- ・エスピリトサント州大ビトリア圏（継続）
- ・パラナ州大クリチバ圏（継続）
- ・リオ・グランデ・ド・スル州ポルトアレグレ市（継続）

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionsbothazardinfo.asp?id=259>

②安全対策基礎データ

主要各州， 都市毎の犯罪発生状況， 防犯対策及び滞在時の留意事項等に加え， 査証， 出入国審査や大使館， 総領事館の緊急連絡先が掲載されている。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure.asp?id=259>

③テロ・誘拐情勢

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror.asp?id=259>